



平成 31 年 3 月 22 日

第 130 号

八代高校・八代中学校PTA会報

<http://www.yatsushirohighschool.com/>



▲ホームページ QRコード

特集 1 高校卒業式

特集 2 中学卒業式

● 上級学校合格一覧 ● 校内長距離走大会
● PTA表彰式および各種表彰



特集1

高校卒業式

式 辞



校長 和久田 恭生

早春の陽を浴びて校庭の桜の蕾が膨らみ始め、八代海から沃野に吹く風に確かな春の訪れを感じる季節となりました。

今日の佳き日に八代高校同窓会会長 村山忍 様、熊本県議会議員 小早川宗弘様をはじめ、多数のご来賓並びに保護者の皆様のご出席のもと、第七十一回熊本県立八代高等学校卒業式をこのように盛大に挙行できますことに、心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました二三四名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さんの脳裏には、三年間の出来事が次々と思い浮かんでいることと思います。皆さんが本校に入学して数日後の平成二十八年四月十四日に熊本地震が発生し、八代市では震度五弱が観測されました。この地震によって翌日から五月一日まで休校を余儀なくされました。さらに四月十六日午前一時二十五分には本震が起これ、八代地区は震度六弱の揺れを記録しました。その後、余震が止まず、不安な日々が続きました。この第一体育館と第二体育館

は避難所となり、一時は千人を超える方々が避難され、グラウンドにも沢山の方々が車中泊される状況が続きました。皆さんは、高校生活のスタートで熊本地震の影響を大きく受け、地震によって多くのものが失われ、壊れましたが、その一方で日常の大切さや人との絆を知ることができました。

さて、これからの社会は少子高齢化、就学・就業構造の変化、急速なグローバル化や人工知能・IoTなどの技術革新が進展する中で、人生百年時代、さらには Society 5.0 という新たな時代が到来しつつあると言われています。 Society 5.0 とは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな経済社会で、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させること

によって、地域、年齢、性別、言語などによる格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供することで、経済的発展と社会的課題の解決を両立し、人々が快適に活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会」であるとされています。皆さんは、こうした激変する国際情勢、社会構造・産業構造などに対応していかなければなりません。その一方で、これからの時代は、人と人との繋がりが、人と自然との調和が一層求められます。生まれ育った郷土や国を愛し、自己というものをしっかりと確立したうえで、国や民族の価値観の違いを越えた地球的な視野を持ち、困難な局面であっても希望を持ち続け、多方面で活躍する人材となつてほしいと願っています。

ところで、皆さんには卒業にあたり本校の教育理念である三綱領をこれからも大切にしてほしいと思っております。「誠実にして 真理を愛する」、「自律を旨として 協和を重んずる」、「闊達にして 進取の氣象を尚ぶ」という本校の三綱領は、これまでも本校教育の根幹として、豊かな人間性を育み、社会に貢献する人材を輩出する本校の伝統と校風の源でした。本校を卒業する今日からは、今後の皆さんの言動の試金石になるものと、私は確信しています。自分の言動が、誠実・自律・闊達であるか、さらに、真理を愛し、協和を重んじ、進取の氣象を目指しているのか、自問自答しながら、生涯に亘って生きていく上での拠り所にしてほしいと思っています。

また、本校校歌「道」を卒業後も忘れないでほしいと思います。三綱領の制定から五年後の昭和三十三年、同窓の作家である耕治人氏によって、校歌「道」が作詞されました。耕氏は八代で生まれ、十七歳までずっと八代で過ごし、旧制八代中学から済々黌中学に転校しています。済々黌卒業後は上京して過ごし、その後は不幸が重なった暗い思い出の多い八代に来ることは無かったそうです。八代を離れて二十六年が経過した頃、旧制八代中学と八代高等女学校が合併して八代高校となりました。この八代高校に校歌がないことを生徒たちが残念がっている様子を見た当時の八代高校校歌委員会が、熊本県出身の作家であるという事で耕氏に本校校歌の作詞を依頼する手紙を送られたそうです。耕氏が八代中学に四年まで在学していたことを知らずに校歌作成を依頼されたことは、まさに運

命的で奇跡的な巡り合わせであると思います。不幸な出来事が重なった故郷八代への決別を一度は誓っていた中で、校歌の作詞をしたことが契機となって、心の蟬りが溶け、過去の苦しみ乗り越えることができた耕氏は自らの作品の中で述べています。この校歌には、八代の美しい風景だけでなく、「どんなに苦しい状況に陥っても一筋の希望を失わずに自分の道を歩み続けよ」という八代高校の後輩たちへの強い励ましのメッセージが込められていると私は感じています。そのため、校歌に「道」という題がついているのだと思います。卒業後も校歌を歌い継ぎながら、それぞれの道を八高卒業生らしく力強く一途に歩んでください。卒業という人生の節目となる今日、皆さんを支えてくださった保護者をはじめとする方々への感謝の気持ちを忘れることなく、また、ふるさと熊本を誇りとして、未来を誠実に切り拓いてください。

結びに、本校三綱領と本校校歌『道』に込められた思いを八高第七十一期生である卒業生の皆さんに饒の言葉として贈り、皆さんのご健康とご活躍を祈念して、式辞と致します。



祝 辞



鳳凰となり、夢に羽ばたけ！

P T A 会長 今田 史昭

熊本県立八代高等学校 第七十一回生二三四名の皆さん、卒業おめでとうございます。

三年前、将来の夢や希望を胸に抱き、「八高生」として入学してきました。入学式後すぐ、熊本地震に遭い、学校生活に慣れる前に休校となってしまいました。それでも、しっかりと勉学にも部活にも力を入れてきた君たちです。高校三年間、この学び舎で過ごした日々は思い出深いものになったことでしょう。

高一の時には、韓日スカウトフォーラム日本代表に選ばれた人もいました。そして、本校一二〇周年記念式典も経験し、伝統の重さを実感したと思います。また、本校生には恒例となってきた「T T B i z」で全国大会に出場、高二の時には、P D A 高校生即興型英語ディベート全国大会に出場し、四戦三勝、ベストスピーカー三位を獲得するなど大健闘を見せてくれました。このように本校が取り組む「グローバル・アクション・プログラム」の実績を残してくれました。そして、高三の時には、めざましLIVE COUNTRY TOUR in YATSUSHIROを

主催し、厚生会館で芸能人とともに躍動してくれました。夢実現に向けて頑張った三年間は、君たちにとって、全てが素敵な財産となることでしょう。無限の可能性を秘めた君たち一人ひとりの更なる成長を楽しみにしています。

明日から君たちは、次のステップに向けて動き出します。また、鳳凰となって旅立ちますので、責任感をもって生活していただくさい。どんな場面に直面しても、八高で培った学びを基礎に、自分を信じて進んでください。しかし、壁にぶつかった時や辛い時は、一人で悩まず、私達保護者を頼ってください。仲間を頼ってください。よろしくお願いします。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。立派に成長した我が子を前に、感慨も一入の事と思います。子供達は、明日から鳳凰となつてこの学び舎を立ちますが、私達にとつてはまだまだ鳳雛です。自立の道を歩む我が子をしっかり見守っていきましょう。それから、PTA活動へも積極的に協力いただきました事に、心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方、そして御来賓の皆様方、今まで子供達を温かく見守り続けてくださったことと、心より感謝申し上げます。まだまだ未熟な鳳凰ですので、私達保護者とともに支えていただけるかと助かります。お世話になりました。

さあ、卒業生の皆さん、鳳凰として大きく羽ばたくときです。不撓不屈の精神で、翼を広げ、将来の夢に向かって頑張ってください。君たちの成功を心から祈念いたします。私の祝辞といたします。

謝 辞



保護者代表 藤田武生
毛利和子

本日、この素晴らしい学び舎である八代高校を巣立ちます、卒業生二三四名の、保護者を代表いたしまして、一言お礼と感謝の言葉を申し上げます。

やわらかな陽射しに春の息吹が感じられます。今日この頃、子どもたちのために、厳肅、かつ盛大な卒業式を執り行なっていた下さいます。誠にありがとうございます。校長先生をはじめ諸先生方には厚くお礼申し上げます。

また、ご多用にもかかわらず御臨席を賜りました来賓の皆様、心より御礼申し上げます。本日、皆様方からいただきました心温まるお祝いのお言葉と、励ましのお言葉は、卒業する子どもたちの胸に、深く刻まれたことと思います。

只今、校長先生から卒業証書をいただいた子どもたちの姿に、万感の想いが胸に迫って参りました。無事に卒業していく我が子に、親として責任を果たした安堵感で胸がいっぱいです。また、この三年間で心身ともに大きく成長した晴れやかな姿を見て、心から誇りに思います。

思い返せば子どもたちが入学した二〇一六年四月、甚大な被害を

もたらした熊本地震が発生しました。入学して間もなくの震災で学校も休校となり、不安な中スタートした高校生活でしたが、校長先生をはじめ諸先生方が子どもたちに寄り添い、親身になってご指導いただいたおかげで、子どもたちも、自分たちから出来ることは何なのか、自問自答を繰り返して、今、生きていくことに感謝し、自分を見失わず、使命感を持って、たくましく生き抜く力を養っていかれたと思います。これもひとえに、先生方の厳しくも温かいご指導のおかげと深く感謝申し上げます。

本日を境に、たくさんの思い出と、輝ける希望を胸にそれぞれの舞台へ飛び立つ子どもたち。新しい環境では壁にぶつかり、目標を失いかけて、時には悩み苦しむこともあるかもしれません。そんな時は、母校で培った力を最大に発揮し、未来に向けて、自分を信じ、堂々と胸を張って前へ進んでいくことを心から祈っています。可能性は無限大です。輝ける未来を「自分の力」で開拓してくれることを願っています。

大人の顔をして、大人の言葉を話しても、まだまだ未熟な子どもたちです。誠に勝手ではございますが、どうか諸先生方におかれまして、これからも人生の先輩として、今後とも子どもたちの成長を温かく見守っていただき、迷った時にはご助言ご指導をいただければ幸いです。

結びにあたり、感謝の言葉尽きませんが、これからの八代高校の益々のご発展と、ご来賓の皆様、校長先生をはじめ諸先生方、そして、縁あって子どもたちに関わってくださいました全ての皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。

高校3年生 コサージュ作り

2月28日(休)、セミナーハウスにてコサージュ作りを行いました。

参加された多くの保護者の方が、高校を卒業する子どもたちとお世話になった先生方のために、心を込めてコサージュをつくってくださいました。ありがとうございました。



昨年12月27日(休)、高校3年生の各教室にて、「受験激励ぜんざい会」を行いました。学級委員と本部役員の方が作った「ぜんざい」を受験勉強で頑張っている子供たちに振る舞うとみんなおいしそうに食べてくれました。

ご協力くださった学級委員と保護者へ感謝するとともに子供たちの今後の活躍を期待しています。



特集2 中学卒業式

式 辞



校長 和久田 恭生

早春の光を浴びて、校庭の閑山桜の蕾が膨らみ始め、春の訪れを待っている花や木々の命の鼓動が聞こえてくるような季節となりました。

本日この佳き日に、多数のご来賓の皆様、多くの保護者の皆様の御臨席を賜り、熊本県立八代中学校第八回卒業式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。ただ今、卒業証書を授与しました八十名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

本日、卒業生の皆さんの脳裏には、本校での三年間の出来事が次々と思い浮かんでいることと思います。皆さんは県立中学校への進学之道を選び、八代中学校入学を選抜検査に合格し、本校に入学しました。中学生としてのスタート直後の平成二十八年四月十四日午後九時二十六分に熊本地震前震が起り、さらに四月十六日午前一時二十五分には本震が起りました。この地震によって翌日から五月一日まで休校を余儀なくされ、皆さんは入学直後にとても大きな不安を抱きながら毎日を過ごし、熊本地震の影響を大きく受け

ることとなりました。これまで経験したことがない悲しい出来事でしたが、そのことを通して皆さんは様々なことを考えさせられ、日常の大切さに気づき、人が人のために尽くすことの素晴らしさを実感するとともに、将来の自分の使命を考える契機にもなったのではないかと思います。

その後、本校での三年間に皆さんは様々な場面で活躍し、大きく成長しました。特に今年度は、八代中学校創立十周年の節目の年にあたり、八代中学校最上級生として記念式典や鳳雛祭体育の部、文化の部で中心となって頑張ってくれたことは、三年間の集大成となったことと思います。

さて、皆さんは、「SDGs」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？ 二〇一五年九月に国連で採択された、世界中で取り組むべき持続可能な開発目標です。「SDGs」は、誰も置き去りにしないことを基本理念として、これから十年後の二〇三〇年に向けて世界が一つになって持続可能なより良い社会をつくろうとする活動です。環境、健康、食糧、教育、仕事などに関する十七の目標が掲げられており、世界の共通課題として取り組んでいくことが求められています。

今、日本社会は急激な少子高齢化が進行し、世界に目を向けるとグローバル化の進展に伴う国際競争が激化の一途を辿っています。我が国が将来にわたり成長・進展し、一人一人の豊かな人生を実現するために、新たな価値を創造し国際的に活躍できる人材や、多様な文化と価値観を受容し共生し

ていくことができる人材が求められています。こうした認識を踏まえ、私は、昨年七月七日の皆さんの「対話力」の授業の中で、少子高齢化、高度情報化、グローバル化についての話をしました。少子高齢化については、農業従事者の三人に二人は既に六十五歳以上で、コメ以外の農機具の機械化が遅れており、野菜作りの農家が減ると将来は食卓から野菜が消え、健康を損なうことにつながるのではないかと思います。高度情報化については、二〇四五年には人工知能が人間の能力を上回る技術特異点(シンギュラリティ)に達するとの予測があり、AI技術が現在存在している仕事の半分を奪う時代が間近に迫っていると言われていますが、人間のコミュニケーション能力や柔軟な判断力が大切であるということ。グローバル化については、多様化する世界を前にして、異なる文化を持つ人々が互いの文化的違いや価値を受け入れ、尊重し、新たな関係性を創造することを旨とする多文化共生の考え方が重要になってきていることに触れ、世界には解決すべき課題が数多くあることを指摘しました。

これらの課題を解決するための手段として、コミュニケーション能力が求められています。コミュニケーションの前提とした「対話力」が、最も求められている能力であると私は思います。本校独自の授業である「対話力」は今年で三年目を迎え、皆さんは三年間を通して「対話力」の授業を受けた最初の卒業生であり、優れた対話力を身に付けることができたことを確信しています。

今の時代においては、グローバルリーダーを養成することが、こ

れまでに増して本校に求められている使命であると思っています。グローバルリーダーとは、グローバルマインドとグローバルスキルを備え、新しい価値を主体的に創り出すことができる人間です。グローバル時代の多様性を尊重し、異なる価値観を受容することともに、自らの意見を明確に発信しつつも多様な他者と協働して物事を進めることができる人材であり、地球的視野を持って未来を展望し新しい価値を創出できる人材です。本校では創設以来、八代高校までの六年間を通して中高一貫したグローバル人材育成プログラムを確立してきました。このプログラムの目指すところは、まさに先に述べた「SDGs」の理念と合致するものであり、そのような広い視野を持った人間に成長してくれることを私たちは願っています。皆さんは八代中学校で身に付けた、優れた「対話力」を基礎に置き、このグローバルリーダーを養成するプログラムをしっかりと自分のものにしてほしいと思います。そして高校で大きく羽ばたいてください。皆さんの活躍を期待しています。

中学校卒業という義務教育を終える節目となる今日、皆さんをこれまで育て、支えてくださった保護者、家族をはじめとする方々への感謝の気持ちを忘れることなく、それぞれ一人一人の未来を誠実に切り拓いていってください。

本校の教育方針である三綱領は、これからどのように時代が変化しようとも、変わることのない不易の理念であると思っています。

結びに、卒業生皆さんに本校三綱領、「誠実にして 真理を愛する」、「自律を旨として 協和を重んずる」、「闊達にして 進取の氣象を尚ぶ」を餞の言葉として贈り、卒業生皆さんの高校での更なる成長を祈念して、式辞と致します。

祝 辞



可能性は無限大

PTA会長 今田 史昭

本日卒業を迎えられる八十名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先程の卒業生入場を見て、三年前の入学式の時、私は広報委員長として写真を撮っていたのですが、君たちの緊張しながらもワクワク感たっぷりの表情を思い出していました。本日は緊張しながらも安堵感たっぷりのいい表情での入場でした。きつと楽しい中学生生活だったのだらうと思います。が、いかがでしたか？

八代中学校での三年間は、これからの君たちの人生の中で鳳雛としての土台作りの一部になっています。八代中学で学んだ「グローバルマインド育成プログラム」を活かして、「信頼できる友達」を大切にしながら、高校でも頑張ってください。まだまだ、土台作りの途中ですので、鳳凰となって飛び立つまでは、勉強し続けて、大きな夢を抱き、あらゆることに積極的に挑戦してください。君たちの可能性は無限大です。更に上を

めざし、常に意識を高めて、土台作りをしていきたいと思います。

君たちは義務教育が終わったことで、自己責任の重さが倍増します。自分がとった行動に対しては、自分が責任を取る！という覚悟をもって明日から生活してください。どうしても困ったことが起きたときは、私たち保護者に必ず相談してください。何かが起きてからでは遅いので、よろしく願いますね。語る事と伝える事は、コミュニケーションでは大切な事であり基本です。今まで以上に、親との会話を増やしてください。進路決定では親との会話は不可欠です。約束ですよ。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業本当におめでとうございませう。また日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただいていますことを、心から御礼を申し上げます。

先ほどお子様にも言いましたが、保護者からも話しかけてください。そして、聞いてあげてください。今まで以上に触れ合ってください。お願いします。ただし、甘やかさないでください。自己責任の重さも学ばせてください。よろしく願います。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方および来賓の皆様、三年間子どもたちを温かくお導きいただき、ときに我慢強く見守り教育してきてくださったことを、PTAとして、また一人の親として、心から感謝いたします。誠にありがとうございます。どうぞ今後とも変わらぬ愛情とご支援をいただきますようお願い申し上げます。PTAを代表しての祝辞とさせていただきます。

謝辞



保護者代表 川口 努
天野 直子

本日、卒業を迎えることとなりました卒業生の保護者を代表致しまして、校長先生始め、教職員の皆様に謹んで御礼の言葉を述べていただきます。

本日は、卒業生のために、このように盛大な卒業証書授与式を挙行いただき、誠にありがとうございます。

保護者一同、心よりお礼申し上げます。

また、ご来賓の皆様におかれましては、公私共にお忙しい中、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。皆様からいただきました、心温まるお祝いのお言葉や励ましのお言葉は、卒業生の胸に、深く刻まれたことと思います。

月日が経つのは早いもので、三年前、真新しい大きな目の制服に身をつつみ、まだあどけなさが残る中、重いカバンを背負いながら八代中学校に通う姿がつい先日のことのように思い出されます。

また入学直後には熊本地震があり、一時はどうなることかと心配しましたが、先生方をはじめ、多くの学校関係者のご尽力により、早期の学校生活再開に安堵したことも思い出されます。

入学当初は、地元の中学に進学するのは異なり、友達も少なく、環境も変わり、不安を抱くことも多々あったかと思えます。

しかし、部活動などを通じて良き先輩・後輩・友人にも恵まれ、先生方のご指導のもと、有意義な中学校生活三年間を過ごすことが出来たことにに対し、まさに感謝の思いであります。

卒業生の皆さん、卒業証書を手に入れ、どのような思いが胸に溢れていますか。様々な思いがあるとは思いますが、私たちは、頼もしく立派になった皆さんの姿を誇らしく感じます。

それは、八代中学校という素晴らしい環境の中で、勉強やスポーツ、芸術に取り組めたからだと思っています。

鳳雛祭体育の部、文化の部、中体連等、みんなで協力して頑張る姿は輝きを放ち、私たち保護者にとくさんの感動を与えてくれました。

様々な活動の中において、時には友達と意見がぶつかり、悩んだこともあったと思います。

相手の事を理解し、自分の思いを伝えることは容易ではありません。そのような時でも、話し合いを重ね、相手を思いやる心で、皆さんは乗り越えてきたと思います。



これからも、思いやりの心を大切に、お互い切磋琢磨しながら、さらなる高みを目指してください。

この春から高校生という、また新たな環境の中に身を置くこととなります。これからの三年間は皆さんそれぞれの進路を決める大事な三年間となります。嬉しいこと、悲しいこと、成功や挫折を繰り返すことと思いますが、全ての経験が自分の成長の糧となります。皆さんの可能性は無限大だと信じています。決してあきらめることなく、これからも八中プライドを持って、自分の力を信じ、力強く、そしてまっすぐに、それぞれの目指すべき道をしっかりと歩んで、充実した高校生活を過ごしてください。

それともう一つお願いがあります。私は高校生活の中で、真の友と出会いました。今でもお付き合いをさせていただいています。同級生の友はいくつになってもありがたいものです。ぜひ皆さんも真の友を作っていたいただきたいと思っています。

卒業と申しましたが、春からこの校舎で学び、先生方ともお会いする機会があります。

これからの、成長過程での道半ばといった子どもたちでありますので、高校での三年間、先生方や職員の皆様には、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。中学校での三年間、先生方の生徒に寄り添った親身な指導とご厚情に対しまして、衷心より感謝申し上げます。

最後に、八代中学校の今後益々のご発展と、校長先生を始め、諸先生方、また本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

中学校3年生 コサージュ作り

2月20日(木)、中3学年の保護者の皆様とセミナーハウスにてコサージュ作りを行いました。

話しながら花を咲かせながら楽しく作業することが出来ました。いつもお手伝いしてくださる学級委員の皆様をはじめ、保護者の皆様ありがとうございました。



今回も八高生は大健闘！ 前期発表時点で充実の結果！

3月10日現在で、平成最後の国公立大学入試前期日程の発表が出そろった。つい先日卒業した第71回生諸君は、自分の第一志望を堅持しながら大学入試に向かっていった。浪人という道を選んで戦ってきた先輩達の頑張りも含め、この結果は、彼らが日々積み重ねていった努力の結晶である。

国公立大学の入試では、難関の医学部医学科に1名、大阪大学に1名、九州大学には8名、地元熊本大学には17名が合格した。私立大学に関しても難関大をはじめ、関西地区や九州地区に多数が合格した。

国公立大後期日程試験を含めた最終結果は今月下旬に出そう。すべての結果の確定版は、本校ホームページや来年度5月発行の進路指導部報「道」1号で知らせることとする。次は在校生諸君、君たちの番である。

平成31年度入試 上級学校 合格一覧

平成31年3月10日判明分まで

■ 国立大学

大学名	現役生 合格(推・AO)	卒	計
1 筑波大	2 (1)	1	3
2 宇都宮大	1 (1)		1
3 東京農工大	1 (1)		1
4 東京学芸大		1	1
5 横浜国立大		1	1
6 静岡大	1	1	2
7 京都教育大	1		1
8 大阪大	1		1
9 岡山大	1 (1)		1
10 鳥取大	1 (1)		1
11 広島大	2	2	4
12 山口大	3		3
13 九州大	4 (2)	4	8
14 九州工業大	1 (1)	1	2
15 福岡教育大	1 (1)		1
16 佐賀大		1	1
17 長崎大	2 (1)	1	3
18 熊本大	13 (6)	4	17
19 大分大	1		1
20 宮崎大	1		1
21 鹿児島大	10 (2)	1	11
合 計	47 (18)	16	63
* 国立大医学部医学科		1	1

■ 公立大学

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 宮城大	1		1
2 高崎経済大	1 (1)		1
3 首都大東京	1 (1)		1
4 長岡造形大	1		1
5 神戸市外国語大	1		1
6 公立鳥取環境大	1		1
7 下関市立大		1	1
8 北九州市立大	8 (4)		8
9 福岡県立大	1		1
10 熊本県立大	10 (4)		10
11 宮崎公立大	1		1
12 名桜大		1	1
合 計	26 (10)	2	28

■ 私立大学

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 城西大		1	1
2 駿河台大	1		1
3 目白大	1		1
4 青山学院大	1		1
5 慶応義塾大	1 (1)		1
6 國學院大	1		1
7 駒澤大	1		1

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
8 帝京大	3	1	4
9 東海大	6	2	8
10 東京経済大	1		1
11 東京農業大	1		1
12 東京理科大	2	2	4
13 桐朋学園大	1		1
14 日本大	1	1	2
15 明治大	2 (1)		2
16 法政大		1	1
17 工学院大		1	1
18 千葉工業大		1	1
19 北里大		1	1
20 神奈川大		1	1
21 神奈川工科大		1	1
22 鶴見大	1		1
23 名城大		1	1
24 皇學館大	1		1
25 岐阜聖徳大		1	1
26 京都先端科学大	1		1
27 同志社大	2 (1)		2
28 立命館大	4		4
29 京都美術工芸大	1		1
30 関西大	1		1
31 近畿大	8		8
32 摂南大		1	1
33 関西学院大	3		3
34 大阪学院大		1	1
35 神戸学院大	2	1	3
36 奈良大	2		2
37 環太平洋大	2		2
38 福山大		1	1
39 広島経済大	1		1
40 西南学院大	7	1	8
41 福岡大	32 (1)	8	40
42 福岡工業大	1		1
43 九州産業大	4		4
44 福岡女学院大	1		1
45 純真学園大	3	1	4
46 日赤九州看護大		1	1
47 第一薬大	1		1
48 久留米大	7		7
49 久留米工大	2		2
50 西九州大	1	1	2
51 長崎外大	1		1
52 熊本学園大	31 (1)	7	38
53 崇城大	34 (1)	4	38
54 尚綱大	4		4
55 九州ルーテル大	6 (1)		6
56 熊本保健科学大	16 (4)	2	18
57 九州看護福祉大	12 (2)		12
58 平成音大	1 (1)		1
59 立命館アジア太平洋大	1 (1)		1

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
60 別府大	1		1
61 九州保健福祉大		1	1
62 鹿児島純心女子大	1		1
合 計	219 (15)	45	264

■ 短期大学等

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 福岡こども短	1		1
2 中村学園短大部	1 (1)		1
3 福岡工大短大部	2		2
4 長崎短	1		1
合 計	5 (1)	0	5

■ 準大学

大学名	現役生 合格(推)	卒	計
1 防衛大学校		1	1
2 防衛医科大学校 看護	1		1
3 水産大学校	1		1
合 計	2	1	3

■ 総 計

校種名	現役生 合格(推)	卒	計
国立・公立大	73 (28)	18	91
私立大・準大・短大	226 (16)	46	272
合 計	299 (44)	64	363

■ 専門・専修学校

系統名	現役生 合格(推)	卒	計
高等看護学校	8 (1)		8
医療系	3		3
県立技術短期大学校		1	1
その他	4		4
合 計	15 (1)	1	16

■ 就職・公務員

系統名	現役生 合格(推)	卒	計
1 熊本県警事務	1		1
2 熊本県警察官	1		1
3 自衛隊曹候補生	2		2
4 その他	2		2
合 計	6	0	6

*国立大医学部医学科合格者の内訳は、熊本大学。

平成30年度 校内長距離走大会



保健体育委員長 平田 太一

1月26日(土)、熊本県営八代運動公園にて校内長距離走大会が開催されました。当日は気温も低く風もある状況の中、生徒たちは体操服の半袖半パンで走り、全員が完走を果たしました。コースは運動公園周辺の道路を一部閉鎖して開催されたため、多くの先生方と約八十名の保護者の総勢百名以上が、走路の警備や通行車両の誘導、生徒への給水作業を行い、生徒が安全に走ることができる体制を整えていただきました。走った生徒たちはきつかったでしょうが、それも一つの経験や思い出になったのではないかと思います。ご協力いただいた皆様には心より感謝を申し上げます。

気をつけて！ 自転車運転！！

平成27年6月1日から、道路交通法の改正に伴い、自転車運転中に危険なルール違反を繰り返すと「自転車運転者講習」を受けることになります。14歳以上から対象になりますので、お様にしっかり伝えていきましょう!! もちろん保護者もご注意ください。違反切符を切られます。

違反の対象とされる 危険行為14種類はこれだ！

- ① 信号無視 (結構多い違反です)
- ② 踏切の強行突破 (めっちゃくちゃ危ないので止めましょう)
- ③ 歩行者用道路で歩行者への注意を怠る (自転車通行可の歩道では徐行が原則) (結構突っ走っている人多いです。子連れの方なんかは歩道を走るパターン多いですから注意が必要)
- ④ 一時停止の無視 (自転車を歩行者と同じ視点で見ている人に多い)
- ⑤ 路側帯で歩行者の通行を妨げる (歩行者の通行の邪魔にならない程度の速度と方法で走行すること)
- ⑥ 通行禁止の無視 (車道を通るのが原則なので車と一緒にですね)
- ⑦ 交差点で右折するとき直進車や左折車の進路を妨害 (これは自動車では当たり前ののに、自転車は勝手に自分優先にしていることも多い)
- ⑧ 交差点を通行するとき他車の進路を妨害 (優先道路を走る車がもちろん優先)
- ⑨ 環状交差点で他車の進路を妨害 (妨害ないように徐行が原則)
- ⑩ 通行区分を守らない (自転車道がある場合はもちろん自転車道を走行。ないときは車と同じ左側を！逆走は言語道断で禁止です)

- ⑪ 普通自転車で歩道通行する際に通行方法を守らない (車道原則ですが、運転者が幼児なら歩道を走ることが可能。その時は車道よりで徐行するか一時停止するかで配慮できるよう指導が必要)
- ⑫ ブレーキ不備 (ブレーキが使えないのはもちろんNGですが、前後輪両方にブレーキがない自転車もNG。前後正常に動く自転車に乗らないと違反になるので注意)
- ⑬ 飲酒運転 (車と同じ、飲酒はNG)

**ここから最重要項目です。
生徒のみなさん、しないでね。**

- ⑭ 安全運転義務違反 (これが多くの人が該当する項目)
 - ※ スマホ・携帯を使用しながらの片手運転や傘差し運転、そしてイヤホンをつけての走行などがあげられます。(これら以外にもまだまだあります。気をつけましょう！)
 - ※ 中学1・2年生も自転車運転の危険行為はやめましょう!!



2月28日(木) PTA表彰式 および各種表彰

表彰者一覧

※ 氏名順不同。()内は組。
2月28日(木) 表彰済み。

PTA 賞

松田 小雪(3) 鍛冶野 亘(6) 守田 希美(6)

同窓会賞

栄 碧海(2) 熊川 実佑(3) 木下つきひ(3)

熊本県がんばる高校生表彰

田中 優香(1)

熊本県高等学校体育連盟賞

久保田涼介(2)水泳部 植田 愛理(2)バレーボール部
平田 茅優(2)陸上競技部 柏木 壮太(3)陸上競技部
塚原 鉄(3)水泳部 田尻 郁(4)陸上競技部
飽田 洋介(5)陸上競技部 荒木 祐進(6)卓球部

熊本県高等学校野球連盟賞

吉岡 龍志(3)

熊本県高等学校文化連盟優秀文化芸術賞

桑原菜々子(2)ピアノ

熊本県高等学校文化連盟文化功労賞

上村 菜花(1)美術 清水 夏希(6)吹奏楽部
丸木 智愛(6)J R C

熊本県高等学校教育研究会図書館部会長賞

西 勇人(1) 山本 怜音(2) 小崎 大詩(6)
中嶋 理穂(6)

熊本県吹奏楽連盟功労賞

岡村菜々子(6)

熊本県高等学校保健会長賞

福田 真依(6)



3力年間皆勤賞 (44名)

代表 稲本 有紗(4)

1組 江中 翔一 松村 龍生 岩井美沙紀
黒木 美羽 小松 麻佑 園川 遥

2組 植田 愛理 本宮愛優乃

3組 吉岡 龍志 植田 朱理 上原 慧
上村 歩 國本 れん 田邊 栞

4組 郷原 玲音 池尻祐梨華 稲本 有紗
尾崎 和奏 草野 那緒 小瀧 朋花
櫻木 涼香 島田 怜奈 摂津 杏樹
園川 葉月 田尻 郁 遠竹 涼音
成松沙李奈 松田 佳乃

5組 野々口真央 福山 大貴 國岡 真希

6組 久保喜一郎 湯野由之輔 石本 愛理
岡村菜々子 柏木 玲香 櫻井 咲良
菅村 優 竹崎まある 丸木 智愛
守田 希美 吉原 百香



同窓会代表幹事 (男子2名・女子2名)

村上 統哉(1) 芳崎 滯(5) 甲斐 萌(3) 田中 あみ(5)

編集後記

桜の便りがきかれる今日の頃、時の流れの早いことと驚いています。一年間広報誌発行において、様々な活動に参加することができ、また色々な事を学ぶ機会がありました。これからも、ぜひとも皆様方にはPTA活動に積極的に参加していただき、先生方と連携を益々強化されることを望みます。紙面作りにご協力いただきまして、先生方保護者の方々には、本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。

広報委員長 米村 和歌子